



今年度を振り返って

今年度1年間を振り返ってみると、何といたっても新型コロナウイルスの感染症に翻弄された1年でした。

昨年度の3月から臨時休業となり、新年度を迎えて4月6日に始業式・入学式を実施したものの、2日後には臨時休業が再開し、4月と5月の2か月間、3月も含めると実質3か月間、子供たちは家庭で過ごす生活が続きました。子供たちにとっては、「我慢」を強いられ、ストレスのたまる日々だったのではないかと思います。臨時休業期間中、各担任は子供たちの学びを止めてはいけないとの思いから、家庭での学習材を印刷・準備し、家庭訪問をして学習材を届け、子供たちを励ましてきました。

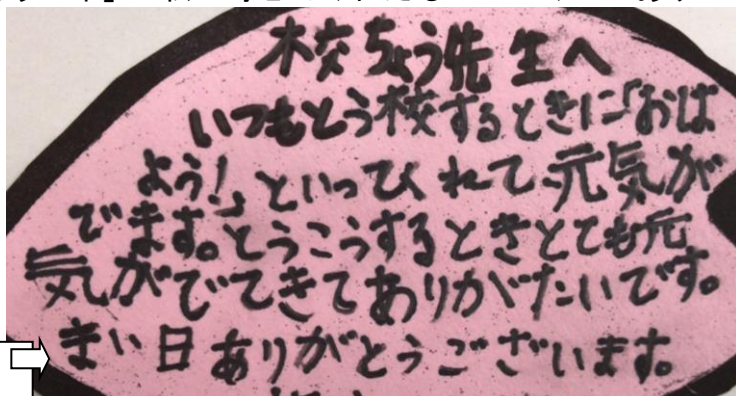
分散登校を経ながら、6月からは、ようやく学校再開となったわけですが、感染対策の徹底を図り「新しい生活様式」を取り入れながら、教育活動を進めてまいりました。しかし、1学期は行事等の中止・延期が続きました。また、学習の遅れを取り戻すべく、授業スタイルもどちらかという教師主体の授業だったように思います。

しかし、2学期からは、With コロナを心掛け、感染対策の徹底を図りながらも子供たちの「学びの保障」をしっかり図るべく、できるだけ通常の学習スタイルである子供主体の授業展開を図ってきたところでした。また1学期に延期した宿泊学習や修学旅行、運動会なども感染対策を図りながら、先生方の知恵を出し合い、様々な工夫を凝らして、充実した内容とすることができました。

まもなく今年度が終了となるわけですが、どの学年の子供たちもコロナ禍に負けることなく、たくましく成長できた1年間だったと思います。そして、こうした大変な1年間であったにもかかわらず、子供たちがしっかり成長できたことは、何より保護者の方々のご理解とご協力の賜物だと思っています。本当にありがとうございました。

これからも明るく、元気な学校生活を送ろう！

この1年間、私は毎朝、子供たちを校門前で迎えてきました。そして、子供たち一人一人と交わす朝の挨拶はとても気持ちのよいものでした。私はできるだけ、明るく元気な挨拶を心掛けました。多くの子がそれに応えて、同じように明るく元気な挨拶を返してくれました。3学期に取り組んだ「ありがとうの木」に私に寄せてくれたものがいくつかありました。「朝の挨拶をすることで、元気が出ました」や「うれしい気持ちになりました」などが書かれていて、私自身もとてもうれしかったです。二小の子供たちは明るく元気な子供たちです。これからもその姿勢で何事にも頑張ってもらいたいと思います。



1年生が書いてくれた「ありがとうの木」のメッセージ。とてもうれしかったです！